

「ふくしまの農育」推進事業について

福島県内の農村地域は、過疎化・高齢化等の影響によって地域の活力が低下しつつあり、地域の将来を担う若者（小学生～大学生）は、「食・命の大切さ」、「農業・農村地域の大切さ」、「自然環境の大切さ」を学ぶ場である農地や土地改良施設、その周辺の自然環境とのふれあいが失われています。

「ふくしまの農育」推進事業は、県内の若者（小学生～大学生）を対象に、農村地域の重要な要素である農地、土地改良施設及び周辺の自然環境等を学びの場として活用した農作業等の体験活動等の指導・助言、土地改良施設が農村地域の維持、発展に果たしている役割等を学ぶ研修会の開催を行い、農業・農村に対する理解を深めることを目的とした取組支援を行っています。

「田んぼの学校・畑の学校」 実践モデル事業



農家等の協力を得ながら、「田んぼの学校」又は「畑の学校」と称したいずれかの農作業体験を実施するモデル小学校を選定し、県が経費の一部を支出し、農業の専門的知識に係る指導・助言を行います。

「生きもの調査」事業



淡水魚類の専門家等の協力を得ながら、農地やその周辺に生息する生きものの調査を実施する小学校を選定し、県が経費の一部を支出し、生きもの調査や周辺環境に関する知識に係る指導・助言を行います。

「ふくしまの農村学びの場」事業



農業・農村の多面的機能を保全していくことの意義、重要性を認識してもらい、地域への関わりを持つ意識を深めてもらうことを目的に、県内在住の小学生～大学生を対象とした農業生産に欠かせない施設（土地改良施設）の造成過程などを見学する現場見学会を開催します。

「農育」とは？

農業・農村地域を活用しながら環境教育、食育等総合的な教育の場とすることからこれを「農育」と総称しています。



期待される事業効果

<子ども達にとって>

- 農作業の楽しさ、大変さ、収穫の喜びを知ることにより、**農業への興味や関心が育成**される
- 農村地域の役割や農業・農村が持つ**多面的機能の保全の意義、重要性についての理解が促進**される

<地域にとって>

- 自然環境への豊かな感性や見識を持つ住民の広がりによる、地域環境の見直しや活性化へのきっかけとなる

<本県農業にとって>

- 本県の農業・農村振興に係るPR・情報発信

ふくしまの農業・農村の持続的な発展へ

【事業に関する問い合わせ先】

福島県 農林水産部 農村振興課
〒960-8670 福島市杉妻町2-16
TEL 024-521-7416

「ふくしまの農育」推進事業の詳細は、
福島県農村振興課HP上でもご覧いただけます

【<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36045b/nouiku1.html>】

